

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 日本ラッド株式会社

コード番号 4736 URL <http://www.nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 隆一

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5574-7800

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,662	△15.4	△259	—	△263	—	△194	—
24年3月期第2四半期	1,965	14.9	△117	—	△136	—	△141	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △243百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △151百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△48.49	—
24年3月期第2四半期	△35.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,977	—	1,396	—	—	35.0
24年3月期	4,304	—	1,656	—	—	38.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,391百万円 24年3月期 1,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,667	10.1	23	—	9	—	28	—	6.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	4,505,390 株	24年3月期	4,505,390 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	488,300 株	24年3月期	488,300 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	4,017,090 株	24年3月期2Q	4,017,135 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした回復傾向が一段落する一方で、欧州の政府債務問題の長期化や中国経済の景気減速により先行きが不透明な状況が継続しました。

情報サービス産業界におきましては、一部の企業で情報化投資が見られましたが、経済全体の先行き不透明さが依然として高いなか、慎重な姿勢は継続しております。

このような状況の中、当社グループは、外気冷却型データセンターの基本技術特許が成立した「排熱型データセンター」の追加設備投資を行い、クラウドサービスやデータセンター関連の新規受注活動に注力して、ストックによる収益比率の向上を図る一方で、期初に実施した、組織体制とプロジェクトマネジメント体制の見直しに基づき、新規顧客の獲得と受注後の生産性向上と品質向上に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、16億62百万円（前年同期比15.4%減）となりました。利益面につきましては、営業損失2億59百万円（前年同期は1億17百万円の損失）、経常損失2億63百万円（前年同期は1億36百万円の損失）となりました。

四半期純損益につきましては、経常損失に加えて、投資有価証券売却益74百万円の特別利益と税金費用の発生により、四半期純損失は、1億94百万円（前年同期は1億41百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」では、LED光源による大型壁面マルチスクリーンディスプレイパネルの案件が売上高を牽引しており、加えてセキュリティ製品プロダクツの販売により、売上高1億82百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

「ビジネスソリューション事業」では、システム受託開発において、一部のプロジェクトで検収時期が下期にずれ込んだため、売上貢献できない部分が発生しましたが、派遣常駐型のシステム開発は、首都圏での安定した継続受注による堅調な売上推移と、地方事業所での新規顧客の開拓が進んだことにより、売上高8億99百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

「システムソリューション事業」では、セキュアマイコン向けミドルウェアビジネスに本格参入し、セキュアマイコンの機能を組み込み型ユーザーアプリケーションから簡単に利用するためのミドルウェア、および各種開発支援ツールを開発し、販売を開始しましたが、事業全体は低調に推移して、売上高4億25百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

「ネットワーク事業」では、サービスの選択と集中の完了を経て、クラウドの新規サービスの投入とデータセンター特許のライセンスビジネスを確立して売上増加に取組んでおり、売上高1億55百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は20億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億32百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が83百万円、受取手形及び売掛金が2億48百万円、仕掛品が68百万円減少したことによるものであります。固定資産は19億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億38百万円増加したものの、無形固定資産が52百万円、投資有価証券が売却等により1億51百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は39億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億27百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億07百万円増加いたしました。これは主に買掛金が64百万円、短期借入金が89百万円、受注損失引当金が38百万円減少したものの、データセンターの増床工事等による未払金が3億23百万円増加したことによるものであります。固定負債は12億円となり、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少いたしました。これは主に社債が90百万円、長期借入金が92百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は25億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は13億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失1億94百万円、その他有価証券評価差額金が48百万円減少したこと及び剰余金の配当20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.0%（前連結会計年度末は38.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1億33百万円減少し、9億38百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは99百万円の収入(前年同四半期は3億36百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費1億69百万円、売上債権の減少2億52百万円、仕入債務の減少76百万円、税金等調整前四半期純損失1億89百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは95百万円の収入(前年同四半期は2億55百万円の支出)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入1億46百万円、固定資産の取得による支出39百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3億29百万円の支出(前年同四半期は1億79百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の返済89百万円、長期借入金の返済1億26百万円、社債の償還による支出90百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成24年5月18日の決算短信で発表しました通期連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ4,073千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,072,010	988,132
受取手形及び売掛金	888,702	639,816
商品及び製品	88,949	91,258
仕掛品	190,230	121,900
原材料及び貯蔵品	32,564	24,575
その他	72,502	147,598
貸倒引当金	△1,805	△2,487
流動資産合計	2,343,154	2,010,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	387,349	619,037
工具、器具及び備品(純額)	232,976	243,480
土地	311,381	311,381
その他	22,142	18,900
有形固定資産合計	953,850	1,192,799
無形固定資産		
のれん	39,626	29,582
ソフトウェア	307,943	374,568
その他	145,473	36,389
無形固定資産合計	493,044	440,540
投資その他の資産		
投資有価証券	224,853	73,318
繰延税金資産	132,880	159,426
その他	218,849	166,421
貸倒引当金	△62,129	△66,155
投資その他の資産合計	514,454	333,011
固定資産合計	1,961,349	1,966,350
資産合計	4,304,504	3,977,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,002	192,430
短期借入金	240,000	150,002
1年内返済予定の長期借入金	287,501	253,461
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
リース債務	7,205	7,317
未払法人税等	13,545	9,253
賞与引当金	13,154	6,423
受注損失引当金	54,494	16,121
その他	219,487	564,668
流動負債合計	1,272,390	1,379,677
固定負債		
社債	330,000	240,000
長期借入金	515,680	423,432
リース債務	19,222	15,534
退職給付引当金	309,009	317,959
役員退職慰労引当金	192,777	195,992
資産除去債務	5,616	5,678
負ののれん	2,331	1,748
その他	802	609
固定負債合計	1,375,439	1,200,955
負債合計	2,647,829	2,580,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	880,425	880,425
利益剰余金	172,775	△38,418
自己株式	△226,419	△226,419
株主資本合計	1,599,611	1,388,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,298	3,329
その他の包括利益累計額合計	52,298	3,329
新株予約権	4,764	4,764
少数株主持分	—	—
純資産合計	1,656,674	1,396,511
負債純資産合計	4,304,504	3,977,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,965,857	1,662,500
売上原価	1,723,307	1,584,591
売上総利益	242,550	77,909
販売費及び一般管理費	360,423	337,167
営業損失(△)	△117,872	△259,258
営業外収益		
受取利息	187	165
受取配当金	995	1,009
持分法による投資利益	176	—
賞与引当金戻入額	—	7,406
その他	774	2,349
営業外収益合計	2,133	10,931
営業外費用		
支払利息	11,761	8,172
社債発行費	7,800	—
持分法による投資損失	—	2,498
貸倒引当金繰入額	—	4,044
その他	1,376	—
営業外費用合計	20,937	14,714
経常損失(△)	△136,676	△263,042
特別利益		
投資有価証券売却益	—	74,100
特別利益合計	—	74,100
特別損失		
固定資産除却損	31	180
投資有価証券評価損	3,581	164
特別損失合計	3,612	344
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,288	△189,286
法人税等	10,602	5,522
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△150,891	△194,808
少数株主損失(△)	△9,324	—
四半期純損失(△)	△141,567	△194,808

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△150,891	△194,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△925	△48,968
その他の包括利益合計	△925	△48,968
四半期包括利益	△151,817	△243,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,493	△243,777
少数株主に係る四半期包括利益	△9,324	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,288	△189,286
減価償却費	93,911	169,310
のれん償却額	10,603	9,461
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,878	8,950
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,108	3,215
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,463	△6,731
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△77	4,708
受注損失引当金の増減額(△は減少)	24,736	△38,372
受取利息及び受取配当金	△1,182	△1,175
支払利息	11,761	8,172
為替差損益(△は益)	1,428	32
持分法による投資損益(△は益)	△176	2,498
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△74,100
投資有価証券評価損益(△は益)	3,581	164
売上債権の増減額(△は増加)	325,612	252,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	△50,326	77,130
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,551	△76,197
その他	51,943	△35,111
小計	357,427	115,255
利息及び配当金の受取額	1,199	1,115
利息の支払額	△12,195	△7,819
法人税等の支払額	△9,719	△8,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,711	99,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151,167	△8,606
無形固定資産の取得による支出	△100,434	△31,349
投資有価証券の取得による支出	△99	—
投資有価証券の売却による収入	139	146,300
差入保証金の差入による支出	—	△15,000
差入保証金の回収による収入	—	2,500
貸付けによる支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	5,896	1,891
その他	120	140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,546	95,875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	△89,998
長期借入金の返済による支出	△79,288	△126,288
社債の発行による収入	300,000	—
社債の償還による支出	△60,000	△90,000
少数株主の増資引受による払込額	32,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,763	△3,767
自己株式の取得による支出	△21	—
配当金の支払額	△19,684	△19,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	179,241	△329,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,428	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	258,977	△133,877
現金及び現金同等物の期首残高	1,091,128	1,072,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,350,106	938,132

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。